

歯肉炎の疑い

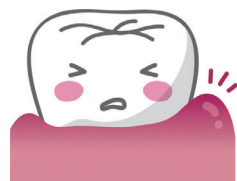
と言われたら

今、痛くなくても
歯医者さんへの

受診をおすすめします

Q 「歯肉炎」とはなんですか？

A 歯肉炎は、歯と歯ぐきの境目などにみがき残した歯垢がたまり、歯肉が赤くなったり腫れたりする病気です。厚生労働省によると5～9歳の40%、10～14歳の50%に見られると報告されています。



Q 「歯肉炎」になるとどうなるのですか？

A 歯肉炎はほとんど痛みがないのですが、「歯肉がむずがゆい」「口の中がネバネバする」「歯みがきで出血する」などの症状がみられることもあります。痛みがないからといって放置すると、歯を支えている骨が壊され、歯が揺れたり、抜けてしまうことがあります。



Q 「歯肉炎」になったらどうしたらいいのですか？

A 早いうちであれば歯みがきなどにより快復しますが、進行すると歯周ポケットが形成される → 歯垢がたまりやすくなる → たまった歯垢は石灰化して歯石になる → 歯石は表面がザラついているため、さらに歯垢が付着する、というように悪循環を続けます。歯石は歯みがきでは除去できないため、歯科医院での治療が必要になります。



おうちの方へ

歯と口は、単に「食べる」だけではなく、「表情を作る」「話す」「運動の際に身体を支えバランスをとる」といった大切な役割がたくさんあります。最近の研究では、「こころ」と「からだ」の健康にも関係していることが明らかになってきています。むし歯や歯肉炎のところにチェックがついていたら、今は痛くなくても歯科医院を受診することをおすすめします。